

東京2020パラリンピック聖火川崎市内各区の採火の様子（4分37秒）

動画内容

（川崎区の採火式 0：03～0：38）

川崎大師平間寺の護摩の元になる火を田島支援学校桜校の児童が採火し、川崎区の火を作る。

（幸区の採火式 0：39～1：23）

K2タウンキャンパスの協力を得て、田島支援学校の生徒が火を起こす。3地区の町内・自治会連合会長と、studio FLATの山内健資さんが採火し、幸区の火を作る。

（中原区の採火式 1：24～2：01）

パラスポーツ選手への応援メッセージなどを書いた折り紙を区民から集めて背景パネルを作成。区内在住のパラアスリートや、中村憲剛さん、川崎フロンターレのマスコットキャラクターであるふろん太、川崎ブレイブサンダースのマスコットキャラクターであるロウル等が参加。パラアスリートの菅野元揮さんが採火し、中原区の火を作る。

（高津区の採火式 2：02～2：39）

高津区における共生社会の象徴、子ども夢パークで開催。利用者である子どもたちが採火し、高津区の火を作る。

（宮前区の採火式 2：40～3：14）

宮前市民広場で開催。区民から寄せられたパラリンピックに出場する本市ゆかりの選手へ応援メッセージを紹介。アンプティサッカーチーム「FC アウボラーダ」に所属する石井賢選手が採火し、宮前区の火を作る。

（多摩区の採火式 3：15～3：50）

日本民家園の佐々木家住宅で開催。プロレスリング・ヒートアップ(株)から、障害者支援・青少年育成等社会貢献活動に尽力している、代表の田村和宏さんをはじめ、今井礼夢さん、兼平大介さん、てっしー手島さん、井土徹也さんが参加。地域福祉の専門家であり、田園調布学園大学准教授兼地域交流センター長の和秀俊さんが採火し、多摩区の火を作る。

（麻生区の採火式 3：51～4：29）

麻生区内で採れた間伐材に応援メッセージを書いて、それらを焚く麻生区採火イベントを開催。川崎授産学園や麻生区子ども会連合会などの麻生区採火イベント実行委員会参加団体から推薦を受けた11名が採火し、麻生区の火を作る。